

《履修上の留意事項》【遠隔授業】

《担当者名》○唐津 ふさ 小林 正伸

【概 要】

本講では、成人期に多い疾患の病態や臨床検査、さらに患者の全身状態を理解し看護援助を考えるためのフィジカルアセスメントについて学習する。

【学習目標】

1. 成人期に多い疾患の病態・検査・治療の基本、およびそれらが患者の身体・心理・社会面に及ぼす影響について理解し、必要な看護援助を考えることができる。
2. フィジカルアセスメントを通して、患者の状態を判断・把握し、必要とされる看護ケアを導き出すためのプロセスを身につける。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
2	フィジカルアセスメント②	フィジカルアセスメント②：呼吸器系①	唐津
3	フィジカルアセスメント③	フィジカルアセスメント③：呼吸器系②	唐津
4	フィジカルアセスメント④	フィジカルアセスメント④：消化器系①	唐津
5	フィジカルアセスメント⑤	フィジカルアセスメント⑤：消化器系②	唐津
6	運動器疾患の病態と治療①	フィジカルアセスメント⑥：運動器 運動器①：骨折の病態・治療と看護	唐津
7	運動器疾患の病態と治療②	運動器②：変形性股関節症の病態・治療と看護	唐津
8	1～7回のまとめ (課題提出)	フィジカルアセスメントに関連するワークシートを提出	唐津
9	血液疾患の病態と治療①血液疾患	血液疾患①	唐津
10	血液疾患の病態と治療①	血液疾患 (貧血の病態・検査・診断・治療)	小林
11	血液疾患の病態と治療②	血液がんの病態・検査・診断・治療	小林
12	血液疾患の病態と治療③	血液がんの治療の基本と実際	小林
13	フィジカルアセスメント⑥	フィジカルアセスメント⑦：循環器①	小林
14	フィジカルアセスメント⑦	フィジカルアセスメント⑧：循環器②	小林
15	13～14回のまとめ (課題提出)	フィジカルアセスメントに関連するワークシートを提出	唐津

【評価方法】

定期試験 80% 小テスト 20%
→課題一式 40% 定期試験 60%

【備 考】

教科書 : 1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[4] 血液・造血器,医学書院
2. 看護がみえるVol.3フィジカルアセスメント,メディックメディア

参考書 : 1. 病気がみえる vol.11 運動器・整形外科,メディックメディア

【学習の準備】

1. 以下の臓器について人体機能学、人体構造学で学んだ内容の復習をし、知識を整理したうえで講義に臨む。(各30分)
呼吸器 (3～4回)、消化器 (5～6回)、循環器 (7～8回)、運動器 (9～10回)、血液 (12～14回)
2. フィジカルアセスメントの講義を受講するにあたっては、看護技術各論Ⅰ・看護技術演習Ⅰで学んだフィジカルアセスメントや人体機能学、人体構造学で学んだ内容について復習しておく。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2, 3

【実務経験】

唐津ふさ（看護師），小林正伸（医師）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床現場での看護師・医師としての実務経験を通じて得た，患者の状態を判断・把握するための知識・技術を活用し，必要とされるケアを導き出すためのプロセスを身につけられるよう実践的な教育を行う．